

信州大学知の森基金を活用したグローバル人材育成のための短期学生海外派遣プログラム  
実施状況および成果(広報用)

プログラム名	ハワイ大学研修	
学部・研究科名	経法(経済)学部	
プログラム実施期間	2019年2月14日～2月24日	
研修先(国・都市・施設名)	アメリカ合衆国・ホノルル・ハワイ大学(マノア校)	
参加者数	8名	知の森からの支援者
		8名
プログラム概要	<p>ハワイ大学でアメリカ(ハワイ)社会・政治経済課題について学ぶ。海外の大学での学習体験を通じ、自ら学ぶ姿勢を養い、異文化理解を促進し、英語学習を奨励する。グローバルな社会で学び仕事をするための基礎力を養う。現地でのプログラムは、ハワイ大学の先生による授業とフィールドトリップ、ハワイ大学の授業参加、現地のNGO訪問(子供支援及び自然エネルギー推進)だが、学習効果を高めるために信州大学での事前学習(2単位分)を義務づけている。研修後は、英語での報告会を行った。</p>	

実施状況・成果

プログラム概要

①ハワイ大学の先生による英語による授業、ハワイ大学の授業への参加(アジア政治、沖縄問題)、授業でのプレゼンと交流イベント:  
アメリカ(ハワイ)の歴史・社会、多文化共生社会、アメリカとアジア、アメリカ(ハワイ)の経済問題、アメリカ(ハワイ)の政治制度と政治課題、環境問題  
研修中の課題:復習・課題レポート作成、授業中のプレゼン準備  
②フィールドトリップ:  
アリゾナ記念館(パールハーバー)、歴史文化ツアー  
③NGO(子供支援と環境問題)訪問及び現地で活躍する卒業生による「グローバル・キャリア」に関する授業  
④信州大学での事前学習(2単位、単位外の英会話学習2単位相当)と事後学習(英語での報告会)  
参加者全員が積極的にプログラムに参加し、無事に研修を終えることができた。事前学習、ハワイ大学での授業やプレゼン、報告レポート及び報告会での英語発表、フィールドトリップ、ハワイ大学学生・教員との交流を通じ、研修の目的も達せられた。ハワイ大学の授業(アジア政治・沖縄問題)に参加し、プレゼン及びハワイ大学の学生との意見交換を行った。参加学生のプログラムに対する評価は非常に高い(研修プログラムに満足:100%、知識・能力を伸ばし達成感を得た:100%)。「知の森基金」の支援により、学生負担が9万円程度で、充実した10日間のプログラムが実施できた。継続的に、事前学習を充実させ英語の学習時間を増やし、プログラムの改善を行っている。研修後も継続的に学生に英語学習を奨励し、ハワイ大学との交流授業企画や留学・英語学習支援を拡充し、グローバル人材育成に関する支援を行って行く予定。参加人数は、去年より2人増え8人となったが、学生に対してどのように海外プログラムを推奨していくかは継続的な課題。

学生の声①-経法学部 学生

この度、私がハワイ大学研修を通して最も強く感じたことは異文化理解には語学力のみならずその国の経済と歴史や文化の理解が必要不可欠であるということだ。ハワイでは観光業による経済成長の裏でネイティブ・ハワイアン(先住民)の伝統文化の喪失や環境破壊といった問題を抱えている。そういった事実をハワイ大学での講義やフィールドトリップを通して肌で感じる事ができたのは大きな収穫となった。また、英語力に関しても現地で日々、英語での講義を受けたことにより英語を聴くことと英語で意見を述べることに抵抗がなくなったことは私にとって大きな成長といえるだろう。この度、これほどまでに素晴らしいスタディツアーに参加させて頂いたことに心より感謝したい。

学生の声②-経法学部 学生

ハワイ大学研修での10日間は毎日新しい情報や学びに出会えた、とても充実した時間でした。教授方の講義内容は、ハワイの独特な文化、歴史から経済や環境問題まで多岐にわたっており、短い研修期間の中でハワイについての知識を沢山インプットすることができました。座学だけでなくフィールドワークも交えながらの日程だったため歴史的建造物など実際に訪れることで学習内容をさらに深めることに繋がったと感じます。観光目的では知り得なかったことや経験できなかった事ばかりのこの学びの機会を、今後の英語学習だけでなく多方面に活かしていきたいです。

ハワイ歴史と文化授業



フィールドトリップ

